

# 第12回とやま未来創造県民会議 事務局説明資料

令和4年10月13日

富 山 県

- 1 とやま未来創生戦略の概要
- 2 「第2期とやま未来創生戦略」の改訂(2022年5月)
- 3 とやま未来創生戦略の進捗状況  
基本目標1～基本目標4
  - ・ 数値目標・KPI(重要業績評価指標)の進捗状況
  - ・ 令和4年度に実施する主な事業

## コンセプト

人口減少を克服し、自然、文化、産業など特色・強みを活かし**持続可能**で**活力ある未来の創造**

## 第2期 とやま未来 創生戦略

- ・まち・ひと・しごと創生法に基づき策定した、本県の実情に応じた地方創生についての基本的な計画。
- ・地方創生関係交付金（地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金）の申請に必要となる。

## 計画期間

5年間（令和2年度～令和6年度）

〔第1期戦略：H27～R1（5年間）〕

## 人口減少**自体**への対応

- ・希望出生率と現状のギャップ
- ・晩婚化と未婚化の進行

- ・若者、女性の転出超過
- ・産業経済の活性化の必要性

## 人口減少**社会**への適応

- ・生産年齢人口の大幅な減少
- ・生産性向上の必要性

- ・地域コミュニティの弱体化
- ・人口減少による様々な影響

### 基本目標 1

結婚・出産・子育ての  
願いが叶う環境整備

**自然減の歯止め**

### 基本目標 2

産業振興、若者等の  
雇用創出、観光振興、  
県内への移住促進

**社会増への転換**

### 基本目標 3

若者・女性・高齢者  
など多様な人材の確保  
と労働生産性の向上

**労働力不足への対応**

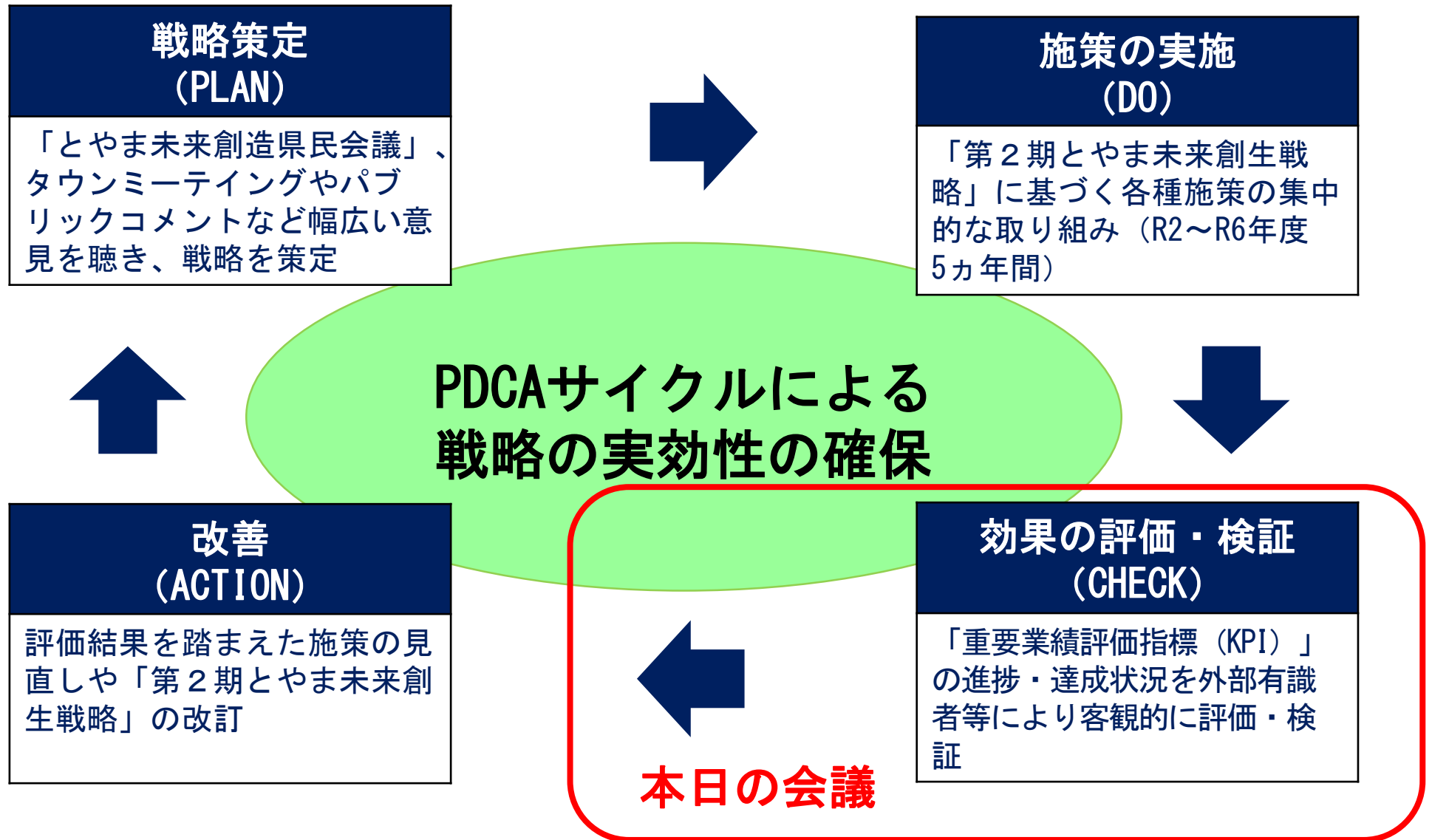
### 基本目標 4

活力あるまち・健や  
かな暮らし・未来を  
担う人づくり

**地域の総合力アップ**

# 1 とやま未来創生戦略の概要(体系)

区分	基本目標	具体的な施策
人口減少自体への対応	<b>基本目標1</b> 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備	1 結婚から子育てまで切れ目のない支援による <b>少子化対策</b> の推進 2 働き方改革を通じたゆとりある生活の実現による <b>少子化対策</b> の推進
	<b>基本目標2</b> 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進	1 <b>産業・地域経済の活性化</b> 2 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある <b>地域づくり</b> 3 <b>観光の振興</b> 4 <b>移住・定住</b> の環境づくり、 <b>関係人口</b> の創出・拡大等
人口減少社会への適応	<b>基本目標3</b> 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上	1 <b>若者や女性</b> が輝いて働ける環境づくり 2 <b>高齢者等</b> が能力を発揮して活躍できる社会の実現 3 <b>外国人材活躍</b> の促進と多文化共生の地域づくり 4 多様な人材の確保・育成と <b>労働生産性の向上</b>
	<b>基本目標4</b> 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり	1 <b>交通ネットワーク</b> 整備と活力ある <b>まちづくり</b> 2 人生100年時代を見据えた <b>人づくり</b> 3 持続可能で安心して暮らせる <b>地域の環境づくり</b> 4 豊かで魅力ある <b>中山間地域</b> の実現



## 2 「第2期とやま未来創生戦略」の改訂(2022年5月)

「第2期とやま未来創生戦略」について、R4年2月の「富山県成長戦略」の策定を踏まえ、以下のとおり改訂（追記）を行いました。

### ■「真の幸せ」（ウェルビーイング）戦略

- ▶主観的な幸福度を重視した「真の幸せ」（ウェルビーイング）を目指すことが経済成長の目的であり、手段でもあるという考えのもと、新しい産業政策、人材政策を目指す

＜分野横断的な視点として記載＞

### ■まちづくり戦略（官民連携／PPP・PFI）

- ▶行政が県民や地元資本を巻き込み、対話しながら作り上げる富山らしい個性的なまちづくりの推進

### ■ブランディング戦略（広報／観光／移住）

- ▶県の活力を保つため、リモートワークやワーケーション、多拠点居住、農泊なども含めた、富山を訪れる全ての人々とのつながりを構築し、「関係人口1000万人」を目指す
- ▶県民の生活全体を観光資源と捉え、地元の生活体験やその地域に暮らす人たちと触れ合うといった「暮らすように旅をする」新たなスタイルの観光誘客を推進

### ■新産業戦略

- ▶国の特区制度なども活用して規制緩和を行い、実証実験の積極的な誘致を推進
- ▶データサイエンス教育、STEAM教育、グローバル時代に対応するための英語教育の強化など、大学、初等中等教育を含む公教育全般を強化

### ■スタートアップ支援戦略

- ▶富山の風土に根差した事業や、新たな形の観光業などのスモールビジネスの成長を支援

**■結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備**

数値目標	H27 (第1期基準)	H30 (第2期基準)	R1	R2	R3	R6 (第2期目標)
合計特殊出生率	1.45 (H26)	1.52	1.53	1.44	1.42	引き上げる

**進捗状況及び今後の方向性**

○本県の令和3年の合計特殊出生率は1.42で、全国値(1.30)を0.12ポイント上回っているものの、前年(1.44)より0.02ポイント低下した。

○2030年(令和12年)に県民希望出生率1.9を達成するため、希望する誰もが結婚、出産し、子育てしやすい環境を整えることが必要であり、市町村とも連携し、若い年齢層の方々を含めた出会いの場の提供等の結婚支援、産みたい人が産みやすくなるための働き方改革の推進や不妊治療支援、男性の育児休業取得促進、産後の家事・育児ヘルパーの派遣等各種支援策の活用促進などを進めていく。

## KPIの状況(令和3年度末時点)

既に達成	達成可能	要努力	達成困難
1	2	8	0

### 進捗状況及び今後の方向性

- 「病児・病後児保育実施箇所数」など、着実に増加している指標がある一方で、「妊娠11週以下での妊娠の届出率」や「6歳未満の子どもを持つ夫婦の育児・家事関連時間」など、一定程度の増加（進捗）はみられるものの、目標値の達成に向けて一層の努力が必要（要努力）である指標が多い。
- 要努力としたKPIを中心に、各KPIの目標値の達成に向け、引き続き、市町村や県内企業など関係機関と連携しながら、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備に向けて必要な取組みを推進する。

### 「要努力」としたKPI

- ・未婚率（25歳～29歳）
- ・未婚率（30歳～34歳）
- ・妊娠11週以下での妊娠の届出率
- ・3歳児健康診査受診率
- ・「とやまっ子 子育て応援券」の利用率
- ・従業員51人～100人の企業のうち一般事業主行動計画を策定し、国に届け出た企業の割合
- ・「イクボス企業同盟とやま」加盟団体数
- ・6歳未満の子どもを持つ夫婦の育児・家事関連時間（1日あたり）



### ■結婚・妊娠・出産支援

- ▶TOYAMATCHの創設（社会全体で結婚を希望する方を応援する体制の創設、企業と連携した支援の実施）
- ▶家族でハッピー！産後ヘルパー派遣事業（産後の母体がつらい時期に家事代行サービスを行うヘルパーを家庭へ派遣する事業を全市町村に拡充して実施）

### ■家庭・地域における子育て支援

- ▶小児医療等提供体制の強化（県リハビリ病院・こども支援センターの体制強化、児童精神科医の養成、「子どものこころの診療サテライト」の実施等により、小児医療を充実・強化）
- ▶とやま子育てイメージアップ事業（子育て支援制度の利用を促進する機運の醸成）
- ▶子育て支援ポータルサイトへのAIチャットボットの設置
- ▶ひとり親家庭が必要とする支援情報を一元化したサイトの開設



### ■働き方改革の推進

- ▶企業と従業員のウェルビーイング創出事業（企業での働き方改革等の促進のため、テーマや開催時期など企業等の希望に応じて専門家を派遣）
- ▶働き方改革ラボ1. 5事業（県庁が率先してテクノロジーを活用した働き方改革を実践するとともに、官民協働の働き方改革コミュニティを設置）



### ■男性の家事・育児参画の促進

- ▶男性の家事チャレンジ・育児参画習慣化キャンペーン事業（女性に偏重している家事・育児負担の是正を促すため、男性が新たな家事・育児に2週間取り組むキャンペーンを実施）
- ▶男性の育児休業取得促進事業（男性の育児休業取得を促進するため、企業の職場単位で働き方改革に2週間取り組むチャレンジ事業を実施）

## ■産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

数値目標	H27 (第1期基準)	H30	R1 (第2期基準)	R2	R3	R6 (第2期目標)
15～34歳の社会移動 ※外国人含む	△1,551人 (H25)	+182人	△1,159人	△1,943人	△2,415人	移動均衡
人口の社会増を目指す	△1,147人 (H26)	+519人	△813人	△1,900人	△1,978人	転入超過 を目指す
「ずっと富山県に住みたい」「富山 県に戻って住みたい」と考える 高校生の割合(5年に1度の調査)	59.8%	-	-	53.8%	-	向上させる

### 進捗状況及び今後の方向性

- 15～34歳の社会移動は、社会増となった時期もある(+182人【H30】)ものの、近年は転出超過となり、超過幅が拡大している。特に、20～29歳の転出超過が多い(△1,691人【R3】)ことから、若年層の県内定着のための取組みの強化が必要である。
- 県全体の社会増減は、H28からH30まで3年連続で転入超過を維持していたが、日本人の若年層の転出超過が依然として続いていることや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外国人の転入の減などにより転出超過となっている。一方で、県・市町村の相談窓口等を通じた移住者数が過去最高を更新(823人【R3】)しているなど、成果を上げている取組みもあることから、引き続き社会増に向けた取組みを行っていく必要がある。

## KPIの状況(令和3年度末時点)

既に達成	達成可能	要努力	達成困難
4	24	30	0

### 進捗状況及び今後の方向性

- 「産学官連携によるアルミやヘルスケアコンソーシアムの研究(技術)開発件数」などの富山の強みを生かした成長産業関係、企業立地関係、「競争的資金の獲得数」などの高等教育機関の魅力向上に関する指標などについては、順調に推移している。
- 一方、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、観光や中小企業の振興関係、富山のブランド力アップ関係など、目標達成に一層の努力を要する指標も多いことから、今後は、アフターコロナを見据えつつ、反転攻勢を目指した取組みを進めていく必要がある。

### 「要努力」としたKPI

- ・医薬品生産金額
- ・国等の競争的研究開発資金の新規獲得件数(累計)
- ・県内中小企業(製造業)の従事者1人あたりの付加価値額
- ・首都圏をはじめとする県の中小企業販路開拓支援事業における商談成約金額実績
- ・海外著名展示会出展企業数
- ・富山県の農業産出額
- ・6次産業化の販売額
- ・沿岸漁業の生産量
- ・県産6魚種及び栽培漁業対象種の産出額(税抜)
- ・水産エコラベルの認証数
- ・県内の農林水産物・食品関連事業者の輸出金額の合計
- ・一般廃棄物再生利用率
- ・県内環境関連企業の海外展開に関するサポート件数
- ・県内初の地熱発電所(バイナリー式発電含む)の建設
- ・県内大学等新規学卒者の県内就職率
- ・管理的職業従事者に占める女性の割合
- ・男女共同参画チーフ・オフィサー設置事業所数
- ・県内に自信をもって誇れるものがたくさんあると思う人の割合
- ・令和新時代まちづくり推進事業のモデル地域数
- ・地域の魅力づくりに取り組むNPO法人数
- ・住みよさランキング
- ・観光消費額
- ・延べ宿泊者数
- ・旅行者満足度
- ・延べ外国人宿泊者数
- ・コンベンション参加者数
- ・アンテナショップへの来店者数
- ・「越中富山幸のこわけ」商品の売上額
- ・「べつばら富山」商品の売上額
- ・「とやま移住・応援人口創出事業」への参加者数

## ■産業振興・地域経済の活性化

- ▶医薬品産業の振興（県内産学官による医薬品の研究開発・専門人材の育成）

## ■企業立地等の促進

- ▶デジタルソリューション推進事業（企業等のデジタル技術を活用した地域課題解決の事例を創出）

## ■農林水産業の振興

- ▶稼げる！とやまの園芸産地支援事業（産地をけん引するリーディング経営体の育成など）
- ▶とやまの農林水産物輸出促進事業（地域商社を中心とした輸出プラットフォームの形成など）

## ■環境・エネルギー

- ▶富山県カーボンニュートラル戦略の策定



太陽光発電

## ■若者・女性の就業支援・県内定着の促進

- ▶創業支援センター／創業・移住促進住宅（愛称：「SCOP TOYAMA」）の管理運営
- ▶とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業  
（成長するスタートアップ企業の創出に向けた案件の発掘と集中的な支援）



## ■地域の魅力創生

- ▶関係人口1,000万人協働促進事業（NPO等による他の地域と協働した地域課題解決の取組みを支援）

## ■観光の振興

- ▶新たな時代に対応した観光地域づくり支援事業（デジタル技術の活用など新たな観光ビジネスを支援）

## ■移住・定住の環境づくり、関係人口の創出・拡大

- ▶とやまワーケーション推進事業（体験ツアーの充実や戦略的なPR等により誘致を推進）

## ■若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

数値目標	H27 (第1期基準)	H28 (第2期基準)	H30	R1	R3	R6 (第2期目標)
1人当たり県民所得	307.7万円 (H24)	329.5万円 全国5位	339.8万円 全国5位	331.6万円 全国7位	—	同水準を維持又は向上 (全国5位以内)

※数値・順位は公表時のもの

### 進捗状況及び今後の方向性

○R2年1月以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって景気が大幅に下押しされるなどの影響により、県内の主力産業である製造業の県内総生産が減少した結果、R元年度の県内総生産が3年ぶりに減少したことなどから、1人当たり県民所得も前年度を下回った。

○女性・高齢者・外国人材等の活躍促進と多文化共生の地域づくり、グローバル人材の育成、高度ものづくり、医療・福祉、観光など幅広い分野で人材のスキルアップを図っていく「ひとづくり」施策を推進するとともに、県内産業の労働生産性向上により、企業収益を伸ばし、その収益が個人所得に十分還元され、個人消費が伸びていくという好循環の創出を推進する。



## KPIの状況(令和3年度末時点)

既に達成	達成可能	要努力	達成困難
3	6	4	0

### 「要努力」としたKPI

- ・ 審議会等における女性委員の割合
- ・ エイジレス社会リーダー養成数（累計）
- ・ とやま観光塾の認定ガイド数（累計）
- ・ 年平均新設事業所数のうちサービス業の数

### 進捗状況及び今後の方向性

- 全体として概ね順調に進捗しており、特に、若者や女性、高齢者、外国人材など、多様な人材が輝き能力を発揮して活躍できる環境づくりに関するKPI（「30～34歳の女性の就業率」、「65～69歳の就業率」、「県内外国人留学生の県内就職数」など）については、既に達成や達成可能となっている。
- 一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響などにより、当初の見込みを下回って推移しているものや、一時的に目標値を達成したものの、数値を維持するためには更なる取り組みが必要なもの（審議会等における女性委員の割合）など、目標達成に向けて努力を要する指標もある。
- 生産年齢人口の減少が見込まれる中、本県の産業経済が持続的に発展できるよう、引き続き、多様な人材の確保・育成や県内企業の労働生産性向上のために必要な施策を推進する。

### ■若者や女性が輝いて働ける環境づくり

- ▶とやまUIJターン起業支援事業（本県に移住し、県内での起業を目指す起業家に対し創業経費等を助成）
- ▶企業成長×女性活躍プロジェクト事業（女性活躍推進フォーラムの開催、専門コンサルの派遣）
- ▶女性活躍「ファーストペンギン企業」パイロット事業  
（県内企業における女性活躍推進に向け、企業の先駆的なチャレンジを支援）



### ■高齢者等が活躍できる社会の実現

- ▶元気高齢者による介護助手普及・マッチング支援事業  
（元気な高齢者による介護助手の導入促進や就労マッチング支援を実施）
- ▶特例子会社等設立支援・周知・啓発事業（障害者の雇用の拡大・定着を図るため、特例子会社、特定組合等の設立に要する経費に対して補助するほか、制度の周知・啓発を実施）

### ■外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり

- ▶外国人材採用・就職サポート事業（外国人材採用・就職サポートのための相談窓口を設置）
- ▶地域日本語教育体制整備事業（地域日本語教育コーディネーターの配置など）

### ■多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上

- ▶ローカル5G活用生産性向上推進事業（県内企業のローカル5Gの本格導入に向けた計画策定や技術実証、基地局整備等を支援）
- ▶就職氷河期世代・第二新卒等正規雇用強化事業（正社員就職プログラム、合同企業説明会など）
- ▶富山版「プロフェッショナル・副業兼業人材確保プロジェクト」（県内金融機関と連携した、県内企業のプロフェッショナル人材や副業・兼業人材の活用を支援）



## ■活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

数値目標	H27 (第1期基準)	H30	R1	R2	R3	R6 (第2期目標)
健康寿命 ※3年に1度の集計	男性70.63歳 女性74.36歳 (H22)	男性72.58歳 女性75.77歳 (H28 第2期基準)	男性72.71歳 女性76.18歳	—	—	男性73.88歳 女性77.01歳
「これからも富山県に住みたい」と感じる人の割合	84.6%	79.1%	80.1% (第2期基準)	85.6%	83.0%	同水準を維持又は向上

### 進捗状況及び今後の方向性

○R元年度の健康寿命（R3. 12公表）は、男性72.71歳、女性76.18歳と、前回調査（H28）と比較して伸びているものの、全国順位は、男性19位（前回8位）、女性10位（前回4位）と前回は下回った。引き続き、企業などにおける「健康経営」の普及による働き盛り世代の健康づくりを含め、県民一人ひとりの健康づくりの推進に積極的に取り組み、健康寿命の延伸、そしてそれを基盤としたウェルビーイングの実現に向けて努力していく。

○「これからも富山県に住みたい」と感じる人の割合は83.0%と、前回調査よりも2.6ポイント減少したものの、基準年の数値を上回っている。目標達成に向け、本県の豊かな自然環境、ものづくり産業をはじめとする地域産業、ふるさと富山の歴史や文化などの特性を踏まえ、より一層魅力ある地域社会の構築を推進していく。



## KPIの状況(令和3年度末時点)

既に達成	達成可能	要努力	達成困難
3	43	32	0

### 進捗状況及び今後の方向性

- 「環境保全活動への取組み者数」や「住宅の耐震化率」などの快適な環境づくりや、「自主防災組織の組織率」や「犯罪発生率」などの安全・安心の確保の分野においては、順調に進捗している指標が多い。
- 一方、「児童生徒の朝食の欠食割合」や「いじめの解消率」をはじめとした子どもをめぐる環境の整備や、「県民カレッジ受講者数」などの生涯にわたる学びの推進に関する分野などでは、目標達成に一層の努力を要する指標もある。
- 今後も、「人生100年時代」を見据えた人づくり、活力があり持続可能で安心して暮らせる地域づくりの実現に必要な施策を推進する。

### 「要努力」としたKPI

- ・耐震対策を実施した橋梁数(第1次緊急輸送道路)
- ・伏木富山港の外貿コンテナ取扱個数
- ・富山空港国内・国際路線の利用者数
- ・中心市街地の歩行者通行量
- ・地域交通計画を策定している市町村数
- ・幹線鉄道の運行間隔 ・自殺死亡率
- ・市町村がん検診受診率
- ・80歳で20本以上の自分の歯を有する者の増加
- ・認定看護師数 ・介護サービスにおける介護職員数
- ・富山型デイサービス施設設置件数
- ・ケアネット活動の取組み地区数
- ・特別養護老人ホーム待機者数 ・児童生徒の朝食の欠食割合
- ・小・中学校の保護者の親学び講座参加率 ・18・19歳の投票率
- ・地区別幼児教育・小学校教育接続研修会参加率
- ・児童生徒のICT活用を指導する能力 ・いじめの解消率
- ・私立高等学校への経常費補助金の補助単価水準
- ・将来の夢や目標をもっている子どもの割合
- ・国民体育大会等の全国大会における入賞等の件数
- ・ボランティア活動者 ・NPO法人認証数
- ・県民カレッジ受講者数
- ・公民館における地域課題の解決に向けた学びや自然体験・ふるさと学習への参加人数
- ・環境美化活動参加者数
- ・高齢者が居住する住宅のバリアフリー率
- ・地域活動に参加している人の割合
- ・学校給食で年間に提供した野菜、果物等に占める県産食材の活用割合
- ・中山間地域におけるケアネット活動の取組地区数

### ■交通ネットワークの整備

- ▶富山県地域公共交通計画策定に向けた調査検討
- ▶富山県MaaS環境構築事業（MaaSアプリによる乗継ぎ円滑化、交通サービスの多言語化など）

### ■人生100年時代を見据えた人づくり

- ▶つながる健康プロジェクト  
（スマホアプリを活用し、生活習慣改善を促すキャンペーンを実施）
- ▶県立大学大学院看護学研究科・看護学専攻科の整備
- ▶とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業  
（県立学校におけるプロジェクト学習や教科横断的なSTEAM教育を推進）
- ▶未来のDX人材育成事業  
（小中高生のプログラミング技能向上に向けた体験プログラム等を実施）
- ▶第4回とやま世界こども舞台芸術祭（PAT2022）の開催支援



MaaS

### ■持続可能で安心して暮らせる地域づくり

- ▶富山県防災危機管理センターの整備
- ▶県民総参加のSDGs取組み促進事業（企業等の連携を推進するフォーラムの開催、モデル企業の紹介、普及啓発事業への補助）
- ▶カーボンニュートラルポート形成計画の策定（伏木富山港において脱炭素化の推進計画を策定）
- ▶企業参画型エシカル消費PR支援等事業（小売事業者と連携したPRや啓発イベント等を展開）



富山県防災危機管理センター

### ■豊かで魅力ある中山間地域の実現

- ▶中山間地域ドローン物流実証事業（ドローンを活用した物流の可能性の検討と検証を実施）
- ▶地域おこし協力隊定着率向上対策事業（隊員の募集段階から任期終了後のサポートを一体的に実施）
- ▶中山間地域等買い物サービス総合推進事業（民間提案を活かした買い物サービスの実証）